

# ExtraNews @ Nepal

## リピタブグティ報告

文化や伝統などを保存し、継承する事業の一環として、2004年夏からネパール・パタンで運営している伝統文字学塾を助成していますが、ラジバイ・釈迦ネパール事務所長から報告メールが届きましたので、紹介します。

助成金ありがとうございました。もう2か月前に届いたのですが、近くにあったインターネットカフェがなくなり、Eメールを送ることもなかなか出来なくなりましたので。

リピタブグティの領収書と一緒にプロチャリット文字の教室の写真を送ります。毎週金曜日にカトマンズの幼稚園の一室を借りて開いていました。

この授業は先週終わったのですが、はじめ生徒は34人いました。最終日の試験の日は14人だけでした。写真は教室の様子と、先生(名前はサローズ・タムラカールです。)の1枚です。また教室が始まったら写真を送ります。以上

2010年10月13日 ラジバイシャカ



「アジアの子ども達に未来を」 常時ご寄付を集めています

- ・名義「特定非営利活動法人 T・M良薬センター」
- ・銀行「群馬銀行本店 普通 2134150」
- ・郵便局「00160-5-591781」

表紙写真／井戸寄贈候補地オーポー村の様子／カンボジア  
印刷協力／群馬県沼田幼稚園（田代浩敬園長）

# カンボジア 17



光と水のプレゼント・教育支援・医療器具リサイクル等



「あたりまえをあの子にも」

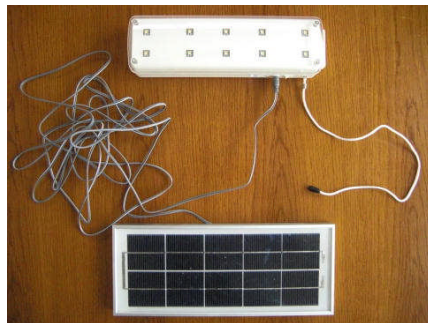
会報 第17号

平成22年 11月5日  
T・M良薬センター事務局  
371-0852 群馬県  
前橋市総社町総社 1024  
Tel&Fax : 027-254-2325  
E-mail : office@tmrc.jp  
<http://www.tmrc.jp>

## ソーラーシステム事業

太陽光×LEDライト。この度T・M良薬センターは(株)GWソーラーと革新的な、簡便な電灯システムをつくり、安価で実用化するにいたりました。電気が通わない僻地の暗闇に明かりが灯ることになります。

アジアには電気の通じていない僻地が多くあり、生命の維持にも支障をきたしている現状です。貧困のため、燃料が買えず、豊福な太陽熱があってもそれを利用する技術がありません。



そこで、TMRCは2010年春から画期的な太陽光発電の技術革新に参加し、市価の10分の1程度の値段で、小型で簡便なシステムを作りあげました。ちょうどLEDの電球が蓮の台に似ているので、

“日蓮システム”と名づけ、実用化するにいたりました。写真(上)は「日蓮システム(小)」で、多結晶太陽電池モジュール(ソーラーパネル)とLED電灯を接続して、空の下に置いておくだけで、明かりがとれる



というものです。4時間の充電で、6時間程度継続して使用できます。

チラシを作って国内で呼びかけたところ、早速提供者が現れ、2010年9月末にカンボジア・タケオの診療所に第1灯目を設置することができました。夜中の出産などに役立つということで、大変喜ばれています。



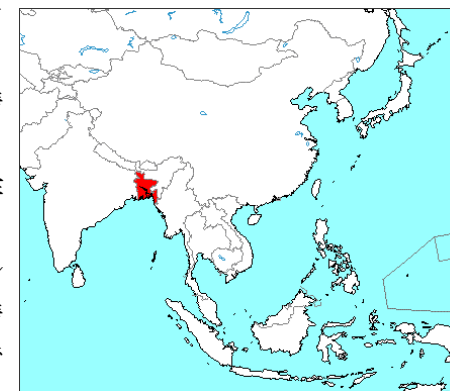
## 中古医療器具リサイクル

病院で定期的に更新される医療器具。数年使用したレントゲンやエコー等の精密機器から、ICUベッドや手術器具用コンテナなど色々な器具が病院から出されるのを見て、ハーク医師は自分の故郷を思い出していました。

バン格拉ディッシュから群馬大学医学部に留学中の、ハーク氏の切実な思いが少しずつ実を結んできています。来年春には博士論文を提出するため多忙を極める同氏ですが、母国の医療不足のために小さな命が犠牲になっていることを考えると、居ても立ってられないということで、寝る間を惜しんでリサイクル輸送の準備を進めています。

まず資金集め。今年の春から母国の協力者を募り10月に、初回の輸送費を捻出できそうだと連絡が入りました。輸送後の機械の修理も可能であり、現地での事業を運営していく組織もつくっているとのこと。すでに外国に医療器具を送ったことがある教授や、在バン格拉ディッシュの大使館に勤めていた方や、ロータリークラブや商工会のメンバーなど日本の協力者を得ることもできました。群大の教授を通して県内外の病院へ医療器具の無料払い下げを依頼する段取りも組みました。

あとは、輸送の便を考慮してTMRCの現地事務所を開設することが必須となりました。申請してから認可を得るまで3、4カ月かかるということで、早速作業を進めています。11月29日にはハーク氏とバン格拉ディッシュを訪問し、NPOの開設を要請し、現地調査を実施する予定です。



## 「ほほえみ図書館」(日蓮宗『宗報』掲載)

井戸を寄贈した横須賀市本圓寺が 2010 年 10 月、スリランカ・ウパ州バズラ地区の子ども達に図書を贈りました。同国中央山岳地ウパバズラに、初の高校卒業資格を得られる学校が寄贈されたのは 2006 年 8 月。現在では政府から教師が派遣されて、多くの生徒が学んでいます。

## ハイチの子ども達へ

2010 年 1 月 12 日午後 5 時頃、中米ハイチ共和国で M 7.0 の地震が発生し、多数の家屋が倒壊、大勢が下敷きになって死傷しました。死者は約 22 万人とされています。



横須賀西ロータリークラブは 4 月 29 日、毎年恒例のチャリティライブ(横須賀市大明寺会場)を開催し、寄せられた寄付金をハイチの支援にしたいと当会に依頼。提携している中南米のボランティア団体、「TEMA」を通して 8 月、10 万円分の学用品を、授業を再開した首都ポルトープランスの Delmes Foyer 小学校の生徒に贈りました。



## 太陽光発電

### “日蓮システム”寄贈運動

日輪と蓮華(LEDという人智の実)が生み出す安穏な光を  
闇に苦しむアジアの同胞に！！



#### 基本モデル

#### “日蓮システム”(大) 合計 20 万円

○太陽電多結晶モジュール (ソーラーパネル、67,5×145cm、135W)	1 枚	35,000 円
○チャージコントローラー (12V/15A)	1 台	9,500 円
○バッテリー (155G51)	2 台	45,000 円
○インバーター (250W)	1 台	10,000 円
○ケーブル	1 組	20,000 円
○LED電球 (7W-60W相当)	3 灯	9,000 円
○冷蔵庫 (テルチェ方式、72W)	1 台	15,000 円
※取付工事費 ※技術指導料 ※管理料 ※輸送料 ※その他 (関税等)	}	一式 56,500 円

#### “日蓮システム”(中) 合計 5 万円

- 太陽電多結晶モジュール  
(ソーラーパネル、13×32cm、4,5W×4 枚)
- LED電灯 (4,5W-40W相当×4 灯)

#### “日蓮システム”(小) 合計 2 万円

- 太陽電多結晶モジュール  
(ソーラーパネル、13×32cm、1 枚)
- LED電灯  
(4,5W-40W相当×1 灯)



## 井戸、次々と

カンボジアの国に、1基5万円程度で井戸が寄贈できるということで、続々と提供者が現れています。一方、自分たちの村にも是非井戸がほしいという依頼も増え、雨水を使用してるような地域に、次々とオアシスが出現しています。



寄贈者：豊川一男様  
(有) スター精密社長  
2009年6月完成  
バンデミエン州アンチャンニ村  
昨年寄贈したもので、管理のためこの度訪問しました。

寄贈者：神奈川県横須賀市  
本圓寺(小崎龍延住職)  
2010年8月完成  
シェムリアップ州ソニコン地区  
同年4月にチャリティーコンサートを開き寄贈されました。石碑には「葉山 ゆかりの里」と。



寄贈者：大阪府高槻市  
広宣寺(長谷川鳳秀住職)  
2010年9月完成  
シェムリアップ州ソニコン地区  
日蓮宗宗報の国際協力メニューを  
ご覧になって寄贈されました。  
**その他現在4基工事中！**



## 教育支援事業

学校がなくて、勉強ができない子ども達に「妙法学校」を贈る事業で、現在ミャンマー、カンボジア、スリランカに合計6校建設しています。この活動は建物だけではなくソフト面の提携を重視しているので、学校の提供者である日本の各団体は校舎完成後も、現地の子ども達とご縁を続けています。

### 妙昌寺スクールその後

埼玉県東松山市妙昌寺(村井惇匡住職)が寄贈し、2010年3月に開校したアウンシュク中学校。その後新たに同寺から寄せられた寄附により、10月1日の新学期スタートにあわせ、全校生徒350名に学用品(ノート2冊、ボールペン1本ずつ)が贈られ、一人一人配布されました。



### トイレ建設

妙昌寺のアウンシュク中学校のトイレ建設に続き、藤岡市内の学生らがりサイクル運動を通して寄贈した「群馬藤岡小学校」(モハーリ校)と、東大阪市宝樹寺(和田龍昌住職)が寄贈した「アントマイ校」にもその後の寄附によってトイレが新設されました。

